

展示販売会による中小企業支援事業 2022年4月～2023年3月実施予定 (公財) 奈良県地域産業振興センター

【課題】

①奈良県の県外就業率（他県で従業する人の割合）は全国で2番目に高い。「県内で育った人に県内で働く場を確保する」ことが課題。
②平成12年以降人口減少が続くとともに、高齢化が進展。とりわけ南部・東部地区で顕著となっており、同地区の中小企業振興及び奈良県産の木の利用促進が喫緊の課題。



【目的】

①奥大和地区における産業の活性化へ向けたBtoBマッチング促進及び東海圏の販路拡大。
②奈良県産木材の利用促進による吉野地区森林事業者への波及効果。



奈良県産の木を使用した製品の展示販売会の開催

1. 時期：令和4年（2022年）10月19日～25日
2. 場所：ジェイアール名古屋高島屋
3. 対象：奈良県内で奈良県産の木を使用した製品を製造販売する中小企業5社を出展予定とする
4. 目的：①奥大和地区における産業の活性化へ向けたBtoBマッチング促進及び販路拡大
②奈良県産木材の利用促進（吉野地区林業事業者への波及）



展示する商品のイメージ

展示販売会を効果的に行うための工夫

- 集客策：①百貨店顧客向けのチラシの配布
②展示会場内における「せんとくん」によるチラシ配布を行い、展示会場の盛上げを実施
③地方創生に関する活動を手掛けている民間コンサルティング事業者との連携によりプロの視点で展示会場の設え等、効果的なプロモーションを実施

- 販路拡大：①顧客名簿を取得し、EC販売へと繋げる
②東海地区の他の百貨店バイヤー等へ会場視察を要請

- 事後対応：①出展5社の東海圏におけるフォローアップ
②調査実績を基に、食品を含めたより広い範囲の産業振興計画へと繋げる



【成果目標】

・出展5社の各社売上目標を1,000千円とする。
・期間中にEC販売に繋がる顧客の獲得を各社5名以上。
・会期終了後、令和5年度までにジェイアール名古屋高島屋、松坂屋、三越で各社1回以上の開催。（松坂屋と三越のバイヤーの視察を要請）



【波及効果】

・出展事業者の収益拡大により新規雇用の創出に繋げる。
・5社ともに奈良県産の木を使用しており、木材業者の売上拡大となる。
・奥大和に興味を持つ顧客の中から移住に繋がる可能性がある。



【将来の支援目標】

・会期終了後、今回の展示販売会の検証を踏まえ、食品等を含めた木材以外の商材、展開場所、展開時期を検討し、広い範囲の産業振興計画へと繋げていく。

【県の施策との連携・親和性】

・奈良県政のこれからの主たるテーマ「1. 県内で育った人に県内で働く場を確保」の課題解決向け、その端緒として「8. 南部・東部を元気に～南部・東部は県政の本務～」の課題解決へ向けた事業を試験的に実施する。

